

## 2018年3月期通期決算説明会における質疑応答

2018年5月8日  
NEC ネットエスアイ株式会社

日時：2018年5月8日（火） 10:30～11:15

（＊今年度： 2019年3月期、 昨年度： 2018年3月期）

質問者 A

Q：キャリア NW の今年度業績予想について、受注高が大幅に伸長する計画となっています。移動体基地局工事を手掛ける他の通信建設会社などでは好調な所もありますが、NEC ネットエスアイで大幅拡大を見込む考え方を教えてください。例えば、移動体基地局とコア NW どちらの領域での拡大を見込んでいるのでしょうか。

A：ここ数年間、通信事業者の設備投資抑制に対し、社会インフラ分野などへのリソースシフトを含めて通信事業者向けの事業体制を縮小してきた結果、利益改善などでは成果をあげることが出来ました。しかし、昨年度から想定よりも移動体基地局工事の需要が回復してきた中、そのニーズに十分に対応出来ないなどの課題も出てきました。今年度は、事業体制を再構築し、移動体基地局を中心とした設備投資の回復にしっかり対応することで、受注を拡大していきたいと考えています。

これに加え、昨年度は、一昨年度(17年3月期)に受注した大型保守2年分の反動の影響で、その分の受注高が減少しましたが、今年度は1年分が受注できることも見込んだ上での予想値となっています。

また、通信事業者向け以外でも、ホテル向け等の入札が今年度にずれ込んだ影響などがあります。

Q：不採算の改善、増収効果などがある中、成長投資の積極実施で微増益にとどまるとの説明でしたが、今年度実施する成長投資とは、具体的にどの分野への投資なのでしょうか。

A：成長投資については、デジタル・トランスフォーメーション(DX)分野をはじめとした新サービス開発のためのR&Dや、それに対応するための技術者転換教育費などの様々な費用や、情報化投資などを中心に約20億円考えています。

Q：中長期的な成長を考えた時に注力する分野はどこになるのでしょうか。

A：次期中期経営計画については議論を始めたところですが、ナンバー1、オ

ンリー1のサービスを提供するために、DXなどの最先端技術に関連する分野を伸ばすべくしっかり議論して行きたいと考えています。現在、全社横断プロジェクトにより社内の技術やノウハウを結集しているので、今後はさらに高いレベルのサービスが作れると考えています。DX技術については、まず働き方改革分野において効果が出始めてくると考えており、当社オフィスもこの技術、考え方を取り入れてリニューアルし、検証を始めています。更に将来は、社会インフラ分野や自治体等においても、このような最先端の技術が応用できると考えています。

また、海外事業についても、昨年度はプロジェクトの端境期で苦戦しましたが、今年度以降、プロジェクトが顕在化しつつありますので、ここも伸ばせるように取組んで行きたいと考えています。

以 上